

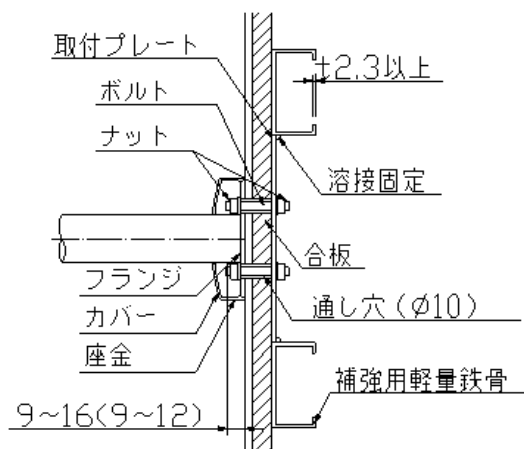
設備工事情報シート	衛生	I-P-22-改 <sub>2</sub>	制定	2005年4月1日
			改訂	2015年3月1日
施工要領	手すり		固定方法及び手順	

## 1. 目的・概要

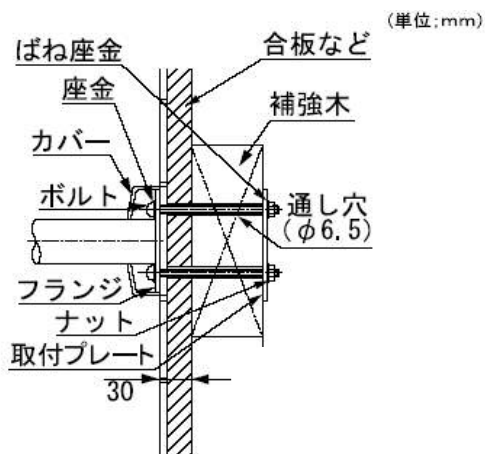
手すりを設置する場合、取付ける壁の仕様によって、手すりのがたつきトラブルが発生する場合があります。

ここでは、代表的な壁仕様における「固定式手すり」の先付け施工要領の代表例を紹介する。

## 2. 施工手順および注意ポイント



(図1：軽量鉄骨下地壁)



(図2：木下地壁)

### (1) 施工前の確認

- ①取付ける壁の仕様に合わせて、事前処理をしておく。

### (2) 壁の種類別、下地のポイント

#### ①軽量鉄骨下地壁 (図1)

手すりの取付位置を考慮し、スタッドに補強用の軽量鉄骨を溶接。溶接した補強用軽量鉄骨に取付ボルトをねじ込んだ、固定式手すり用取付プレートを溶接しておき、コンパネ仕上げ後に座金・ナットで手すりを取付ける。

#### ②木下地壁 (図2)

あらかじめ手すり取付部に補強木を取付けておき、固定式手すり用はさみ込み固定金具を使い、手すりを取付ける。

#### ③コンクリートブロック下地壁 (図3)

あらかじめ手すりの取付部のコンクリートブロック空洞部にモルタルを充填し補強しておき、コンクリート用接着系アンカーで手すりを取付ける。

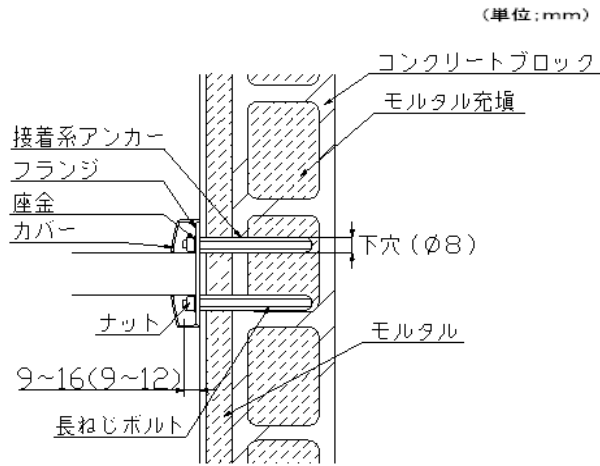
#### ④GL工法壁・コンクリート下地壁 (図4・5)

あらかじめ手すり取付部のコンクリート下地に、手すり取付ボルトをねじ込んだ固定式手すり用取付プレートをアンカーボルトで固定しておく。壁仕上げ後、コンクリート下地と仕上げ材の間にモルタルを充填し、座金・ナットで手すりを取付ける。

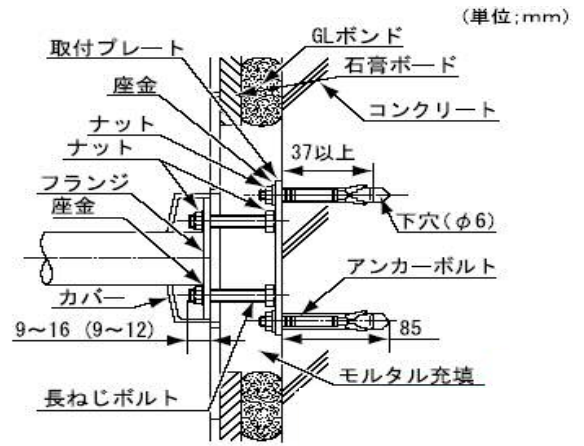
#### ⑤パーテーション壁 (図6)

あらかじめパーテーションの手すり取付部に木補強を入れるよう手配しておく。フランジをコーチねじで固定し、手すりを取付ける。

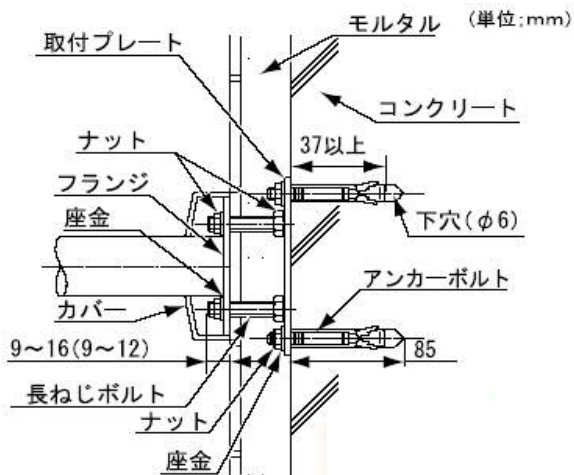
# 資 料



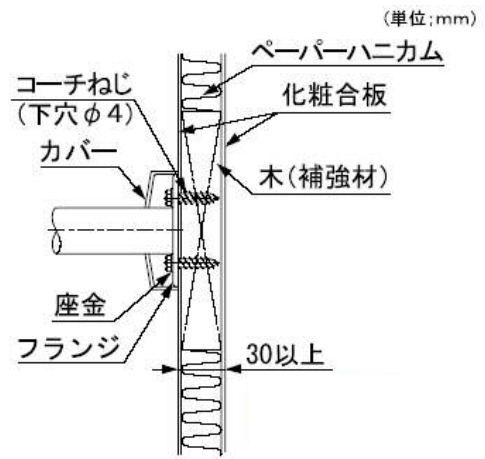
(図3 : コンクリートブロック下地壁)



(図4 : GL工法)



(図5 : コンクリート下地壁)



(図6 : パーティション壁)

※ 寸法は参考例とする。  
 実施施工にあたっては、各メーカーの施工説明書をよく確認すること。

(参考)

TOTO製手すり施工方法 [http://www.e-tesuri.toto.co.jp/seko\\_navi/top.htm](http://www.e-tesuri.toto.co.jp/seko_navi/top.htm)